



# ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.24

会長 西崎 徳彦 幹事 柳 口 崇 編集者 緒 方 光 治 令和2年1月21日発行



## ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-2020年度  
RI会長  
マーク・ダニエル・マローニー  
*Mark Maloney*

1月14日例会（第2111回）記録 職場訪問例会 アグリビジネスセンター

司会 飛石SAA

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「奉仕の理想」

来訪者 宮川紘子様（華輪の会）

伊藤俊昭君（八代）

坂田義孝君・原田一哉君

松出賢二君（八代東）

会長の時間 西崎会長

先週の新年例会及び懇親会では、SAAおよび親睦活動委員会の皆様、そして会員の皆様の御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。本日は、職場訪問例会になりました。職業奉仕委員会を始め準備に御協力いただいた会員の皆様、ありがとうございます。

ここアグリビジネスセンターは2015年5月20日にオープンいたしました。「くまもと県南フードバレー構想」の中核施設となる事を、目的と

1月28日の例会	2月4日の例会
内部卓話	社会奉仕フォーラム
VSOP今年度累計	218,497円

されております。詳細は、この後の見学で説明いただき勉強していきましょう。私からは、フードバレーというカタカナの言葉の意味を説明させていただきます。フードバレーとは、シリコンバレーと言葉が似ております。シリコンバレーとは、アメリカで半導体の生産やソフトウェアやインターネット関連企業が多数生まれたIT企業の一大拠点となっているある程度の広い地域一帯を通称として使用されています。フードバレーとは、熊本県南の豊富な農林水産物を生かし、食関連の研究開発機能や企業を集積させ活性化させるという意味です。この構想は2013年3月に熊本県で策定されております。他県で

出席報告 里副委員長				欠席会員名		メイクアップ済会員名		
本日の出席	会員総数	47名	出席率	岡村・久原・小林・淪・坂本・ 鮫島・澤田・園川・南郷・湊田・ 宮田・毛利・守田・城戸・下田・ 中川・中道・三枝崎・上村	計	19名	0名	
	出席会員数	26名						
	当日分 メイクアップ 済員数	0名						
	計	26名	57.78%					
12/31の修正	12/31の出席会員数	名		前回 補填 会員 名	休会	計	名	
	補填会員数	名						
	計	名	%					
昨年	月出席会員数	名	%			計	名	
メイクアップ 済員名	出席免除：西田会員・市野会員						計	0名

は、静岡県の富士宮市が同時期に策定し推進しております。最近では、栃木県や北海道でも策定されております。日本の「食」が世界中へ発信し届けられていく事を期待いたします。

### 幹事報告 柳口幹事

#### 1. 例会取り止め・変更

・八代RC 1月15日(水)・2月26日(水)は定款第8条第1節に基づき取り止め。

下記は次回回覧予定です。

2. ガバナーより2019～20年度RLIパートII開催のご案内

3. ローターアクトクラブより50周年記念式典のご案内

4. 基隆東RCより週報

5. 八代人権同和教育推進協議会より総括学習会の案内

6. 八代市よりNPOボランティア情報誌「やっしるNPO情報！」

### スマイルBOX 上原委員長

宮川様（華輪の会）：あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

山口・神籬・上原・猪股・清田・鶴田・西崎・藤永・前田・松嶋・續・山本・野尻・湊上・谷川・豊岡の各会員：職場訪問例会の段取りお疲れ様です。また、フードバレーアグリビジネスセンターの皆様の御好意にスマイルします。

山本会員：いつもお弁当の御用命頂きありがとうございます。

### ロータリー財団委員会 緒方委員長

#### VSOPに寄付

氏名	今回の寄付金額
前田会員（マンマチャオ）	2,910円
西崎会員（西崎通信建設㈱）	3,000円
中道会員（㈱中道環境開発）	16,044円

### 卓話 フードバレーアグリビジネスセンターについて

アグリビジネス支援室長 堤 えみ 氏

#### ○目的

県南地域の豊富な農産物を生かし、高付加価値化に関する試験研究を行うとともに、6次産業化の支援や事業者間のマッチング、販路開拓の支援を行い、地域の活性化につながるオープンイノベーションを創出する。

#### ○主な取組

- (1)施設・機器の開放による試作・開発支援
  - (2)生産者と食品関連企業等事業者間のマッチング支援
  - (3)ビジネス創出プロジェクトによる産地形成・活性化支援
  - (4)HACCPに対応した衛生管理高度化支援
  - (5)機能性成分の分析や流通・鮮度保持の試験研究
- アグリビジネスセンターの利用状況  
(平成30年度)

#### 【相談事例】

- ・自社の農産物で新しい加工品を作りたい
- ・既存商品をブラッシュアップしたい
- ・県南地域素材の一次加工品を探したい
- ・委託加工をしてくれる事業者を紹介してほしい
- ・企業と連携して新しいビジネスに取り組んでみたい

○施設・機器利用による試作・開発支援  
搾汁機、乾燥機など、農産物の一次加工品・試作ができる設備・機器を開放し、生産者や事業者の試作・開発を支援します。

- ・施設・機器の利用は無料
- ・機器等の操作方法はスタッフがサポート
- ・加工技術や品質管理に関する技術についてもサポート
- ・少ロットでの加工品試作、サンプル作成が可能

